

児童・生徒の生活実態に関するアンケート調査

(ヤングケアラーに係る実態調査)

実施の手引き

【学校・教員向け】

子どもたちの権利を守り、必要な支援について検討するための基礎資料となるものですので、お忙しいところ恐縮ですが、御協力をよろしくお願いいたします。

1 調査の趣旨

この調査を実施する目的は、以下のとおりです。

- ・本県の児童・生徒における家族の世話の状況やそれに伴う日常生活への支障等について把握し、ヤングケアラー及びその家庭への支援策及び支援体制の構築に結びつけること
- ・調査を通じて、関係機関等のヤングケアラーに関する社会的認知度の向上を図るとともに、理解を促進すること

※ 児童・生徒のプライバシーを確保した上で安心して調査に協力してもらう必要があることから、個人名や学校名の記載（入力）は求めています。
（「誰がヤングケアラーか」を特定する調査ではありません。）

2 調査の対象

【児童・生徒向け調査】

栃木県内の全ての小・中・高等学校（分校、義務教育学校、私立学校、中高一貫教育校、定時制及び通信制を含む）の以下の学年に所属する全ての児童・生徒を対象とする。

- ・小学6年生
- ・中学2年生
- ・高校2年生

3 調査の実施方法

【事前準備】

- 各学校において、電子データにて送付する「児童・生徒向け説明資料（別添資料○）」及び「保護者宛て通知（別添資料○）」を調査対象の児童・生徒（及び家庭）分を印刷してください。

【保護者への通知】

- 調査の実施について保護者の理解を得るとともに、ヤングケアラーに関する社会的理解を促進する機会とするため、アンケート実施の3日前頃を目途に、各学校から「保護者宛て通知（別添資料○）」を調査対象の各家庭宛て配付ください。
(通知に対する保護者からの問合せについては、事務局（保健福祉部こども政策課）で受け付けます。学校に対して問合せがあった場合は、事務局を御案内ください。)

【実施手法】

- 児童・生徒のプライバシーに十分配慮する必要があることから、回答用 Web サイト上のアンケートフォームに入力する形式の調査となります。
- 「児童・生徒向け説明資料（別添資料○）」を児童・生徒に配付し、記載されている QR コード又はサイトアドレスから、各生徒がタブレット等により回答用 Web サイトにアクセスし、アンケートに回答することとしてください。
- 実施に先立ち、担当の先生より児童・生徒に対して、今回の調査の概要や、家庭内でのケアについて、説明を行っていただくようお願いします。
※説明いただきたい内容については、4 児童・生徒への事前説明 に記載しています。

【実施時間】

- 調査の実施（アンケートフォームへの入力）に必要な時間は15～20分程度です。
- 有効な回答数を確保するため、調査は学校生活内の時間（学級活動、ロングホームルーム等）を活用くださるよう、お願いいたします。
- 回答用 Web サイトの入力可能期間は、以下のとおりです。
令和4（2022）年7月〇日（○）9:00 ～ 7月31日（日）17:00 まで

※どうしても学校時間を活用した実施が難しい場合は、児童・生徒に「児童・生徒向け説明資料（別添資料○）」を配付いただき、学校生活外の時間に、児童・生徒が自宅等から家庭のPC、タブレット、スマートフォン等により回答するよう御案内ください。
(その場合でも、可能な限り、4 児童・生徒への事前説明 に記載した事項については御説明くださるようお願いいたします。)

【その他注意事項】

- 学校の回線状況によっては、児童・生徒が一斉に QR コードから回答サイトへのアクセスを行うと、通信が不安定になることも想定されます。回線の強度に応じて、クラス内における回答サイトへのアクセスタイミングを若干ずらすなどの対応をお願いいたします。

4 児童・生徒への事前説明

児童・生徒の心理面等に十分配慮した上で調査を効果的に実施するため、先生から児童・生徒へ、以下の点について御説明いただいた上で、調査を実施していただきたいと考えております。

(説明に要する時間は、5～10分程度を想定しています。)

【調査の趣旨】

- これから行う調査は、栃木県が、みなさんに、学校や家庭で抱える悩みや困りごとなどをお聞きし、それらを解決するのに必要な支援策を検討するために行うものであること。
- この調査は無記名で行うため、個人が特定されたり、回答内容を学校の先生が見ることもないため、正直に回答して欲しいこと。
- 答えにくい内容の質問には、無理して答えなくてもよいこと。
- 学校が行う調査ではないため、成績等への影響なども全くないこと。

【ヤングケアラーについて（ケアの必要性と子どもの権利）】

- 家族がお互いに助け合うこと、家事（家族）の手伝いを進んですることは、素晴らしいことであること。
- 一方、本来ならば大人が担うような家事や家族の世話、例えば、障がいや病気のある家族のお世話であったり、代わりに買い物や料理などの家事をしたりといったことを日常的に担うことで負担が大きくなると、自分が勉強したい、部活動を頑張りたいと思っても、そうした自分のやりたいことができなくなってしまうことがあり、こうした子どものことを「ヤングケアラー」と呼ぶこと。
- 「ヤングケアラー」には様々な負担があるにも関わらず、社会的に十分理解されているとは言えず、悩みを抱えて生活している場合も少なくないことから、県や市町でも、支援していくための施策について検討していること。

(ヤングケアラーのイメージ (例))



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟「こんな人がヤングケアラーです」

【回答後のこと】

- どうしても時間内に回答できなかった場合は、学校生活外の時間などで、家庭の PC やスマートフォンを活用して回答してもよいこと。ただし、複数回の回答はしないこと。
(回答は保存できないため、もう 1 度最初からの入力が必要となります。)
- この調査をきっかけに、家庭内のことについて誰かに相談したくなった場合は、学校の先生やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、又は調査表に記載されている相談窓口に気軽に相談できること。
- 相談を受けた大人は、あなたの秘密を守った上で、あなたの話をしっかり聞いてくれるため、安心して相談してほしいこと。

【その他注意点】

- 家族のケアを行っている子どもの中には、ケアを行うことが生きがいとなっている子どももいると思われることから、ケアを行うことやヤングケアラーであることが否定的なニュアンスで子どもに伝わらないよう、配慮願います。

5 児童・生徒からの相談への対応

- 学校において児童・生徒からヤングケアラーに関する相談を受付けた場合や、ヤングケアラーと思われるケースがある場合は、各市町の相談窓口（ヤングケアラー主管課）にご連絡ください。

市町名		連絡先	市町名		連絡先
宇都宮市			上三川町		
足利市			益子町		
栃木市			茂木町		
佐野市			市貝町		
鹿沼市			芳賀町		
日光市			壬生町		
小山市			野木町		
真岡市			塩谷町		
大田原市			高根沢町		
矢板市			那須町		
那須塩原市			那珂川町		
さくら市					
那須烏山市					
下野市					

6 問い合わせ先

○調査の実施について（実施手法、設問内容等に関するもの）

栃木県保健福祉部こども政策課 児童家庭支援・虐待対策担当

TEL：028-623-3067 FAX：028-623-3070

E-mail：jidokateishien@pref.tochigi.lg.jp

（対応時間 平日（月曜日～金曜日） 9:00～17:00）

○Web 調査について（入力方法、アクセスの不具合等に関するもの）

株式会社 サーベイリサーチセンター

TEL：

E-mail：

（対応時間 平日（月曜日～金曜日） 9：00～18：00）

（参考）

- ・資料○ 調査表（Web 上の質問項目を調査表形式にしたもの）
- ・資料○ 保護者宛て通知